

## 尼崎瓦斯タンク等設計図面概要

- 1: 文書群番号 110022
- 2: 文書群名 尼崎瓦斯タンク等設計図面
- 3: 出所 小田家カ
- 4: 家業・役職等 兵庫県技師／兵庫県山崎町（現宍粟市山崎町）山崎工営所所属カ
- 5: 地名 尼崎市、大阪市、吹田市、神戸市、宍粟市（一宮町閨賀）ほか
- 6: 行政区分 尼崎市、大阪市、吹田市、神戸市、宍粟市（一宮町閨賀）ほか
- 7: 歴史  
尼崎瓦斯は、大正元年（1912）尼崎瓦斯株式会社工場として建設され、水平有底レトルト2門（ガス製造設備／各8坩）、ガス溜（タンク）1基（容量1,400立方米）をもって12月から製造を開始した。第一次世界大戦前後は経営難に苦しみ、大正9年（1920）に神戸瓦斯に買収され、系列会社となった。同12年に入ると、工業用需要が増加し、供給区域の拡張に伴い、設備増強も行われた。その後昭和15年（1940）まで需要家数は順調に増加し、大きな発展を遂げている。同社は、翌年に同容量の瓦斯タンク一基を増設していることから、史料は、この増設分の設計図面に該当することがわかる。その後昭和15年（1940）まで同社の需要家数は順調に増加、大きな発展を遂げている。昭和20年（1945）、神戸瓦斯とともに大阪瓦斯と合併した（『大阪瓦斯五十年史』参照）。
- 8: 伝来 平成22年6月、史料館が古書籍商より購入。
- 9: 史料入手先 古書籍商
- 10: 点数 33点（目録件数13件）
- 11: 年代 昭和10年（1935）～同11年（1936）
- 12: 構造と内容  
本文書群は、いずれも昭和戦前期に作成されたと考えられ、尼崎瓦斯タンク設計図、大阪港復興関係図、トロッコ設計図、安治川隧道設計図、神戸築港図、吹田・大阪旭区等土地区画整理図等からなる。いずれも青焼き設計図である。  
文書群の出所は不明であるが、図面のいくつかには「小田」の判があり、図面の所有者であったと考えられる。小田氏は本文書群史料（目録番号8-2）では兵庫県技師であり、兵庫県山崎町山崎工営所に所属していたことがわかる。
- 13: 関連史料 -
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 河野未央